

## 2010 年 11 月の東北地方の天候

### 【 11 月の特徴 】

#### ○高温

#### (1) 2010 年 11 月の概況

この期間、低気圧や気圧の谷と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化した。低気圧や気圧の谷の通過後は冬型の気圧配置となった日もあったが、冬型の気圧配置は長続きしなかった。気温は、南から暖かい空気が入ることが多く、寒気の影響は小さかったため高温となった。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。月間日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。

#### (2) 各旬の天候経過

**上旬：**この期間、東北日本海側は低気圧や気圧の谷の影響を受け、また気圧の谷の通過後は冬型の気圧配置となって曇りや雨の日が多かった。東北太平洋側は高気圧におおわれ晴れの日が多かった。1 日から 2 日にかけて、日本海を東進した低気圧や本州の南岸から三陸沖を北上した低気圧の影響で各地で大雨となった。9 日から 10 日にかけて、低気圧が発達しながら北日本を通過した影響で東北日本海側を中心に大雨となった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で平年並。

**中旬：**期間の前半は気圧の谷の影響で曇りの日が多く、東北北部で雨や雪の日があった。期間の後半は高気圧におおわれ晴れの日が多かった。気温は、期間の前半は南から暖かい空気が入り高温となったが、期間の後半は寒気の影響で低温となった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北地方でかなり少ない。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。

**下旬：**この期間、高気圧と気圧の谷が短い周期で通過し、天気は周期的に変化した。気圧の谷の通過後は冬型の気圧配置となった日もあったが、一時的だった。気温は、期間のはじめに南から暖かい空気が入り高温となった。

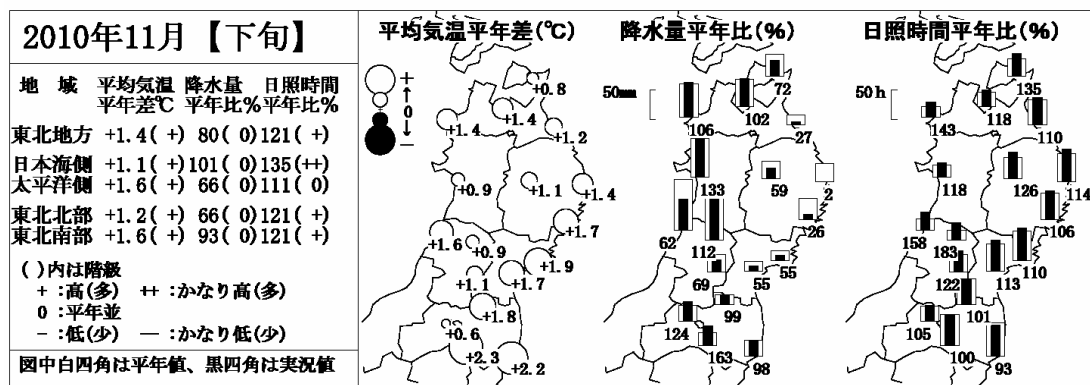
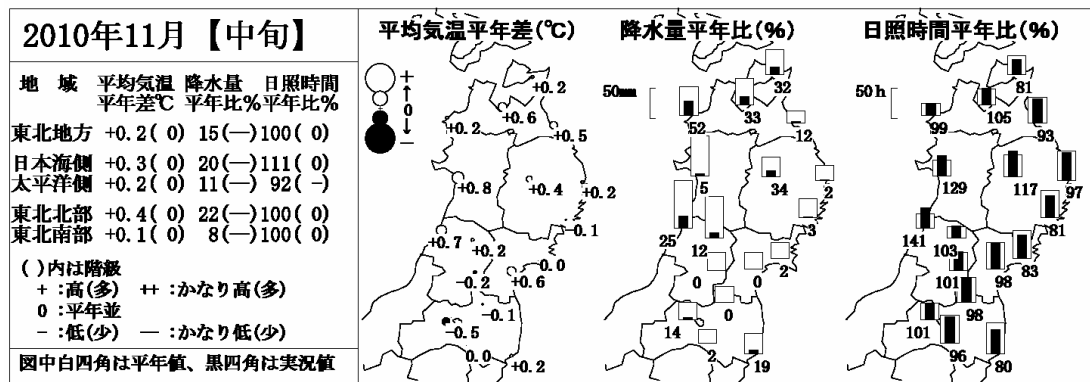
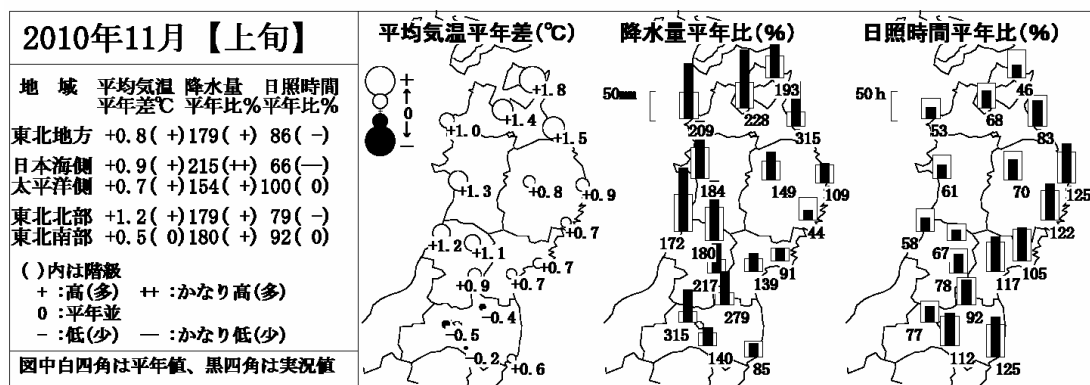
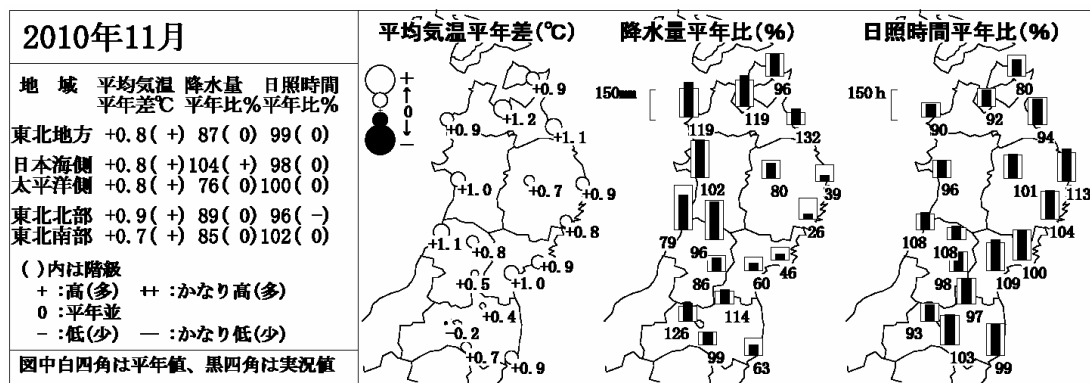
平均気温は東北地方で高い。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。

(注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の気象台と特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注 2 を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

### (3) 2010年11月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

#### (4) 2010 年 11 月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差) 階級 (℃) (℃)	降水量(平年比)階級 (mm) (%)	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級 (h) (%)	降雪深さ(平年値)階級 (cm) (cm)	最深積雪(平年値)階級 (cm) (cm)
青 森	7.6 (+1.2) +	156.5 (119) +	15	84.1 ( 92) -	17 ( 40) -	15 ( 18) ○
深 浦	8.4 (+0.9) +	175.0 (119) +	18	64.0 ( 90) ○	- ( 13) -*	- ( 4) -*
む っ	7.2 (+0.9) +	111.0 ( 96) ○	14	85.5 ( 80) -*	14 ( 21) ○	8 ( 7) ○
八 戸	7.7 (+1.1) +	81.0 (132) +	7	128.4 ( 94) -	- ( 8) -*	- ( 2) -*
秋 田	8.6 (+1.0) +	186.5 (102) ○	16	81.4 ( 96) ○	- ( 13) -*	0 ( 5) -
盛 岡	6.4 (+0.7) ○	74.5 ( 80) -	12	120.3 ( 101) ○	3 ( 11) -	2 ( 5) ○
大 船 渡	9.0 (+0.8) +	27.0 ( 26) -*	5	144.9 ( 104) +	- ( 2) ○	- ( 1) ○
宮 古	8.6 (+0.9) +	33.5 ( 39) -	1	164.8 ( 113) +	- ( 1) ○	- ( 0)
仙 台	10.1 (+1.0) +	40.0 ( 60) ○	4	153.5 ( 109) +	- ( 1) ○	- ( 0)
石 巻	9.2 (+0.9) +	30.0 ( 46) -	3	149.3 ( 100) ○	- ( 1) ○	- ( 1) ○
山 形	7.7 (+0.5) +	69.5 ( 86) ○	10	97.6 ( 98) ○	- ( 12) -*	- ( 5) -*
新 庄	7.0 (+0.8) +	187.5 ( 96) ○	16	67.3 ( 108) +	- ( 28) -*	- ( 13) -*
酒 田	10.1 (+1.1) +	177.0 ( 79) -	17	86.8 ( 108) ○	- ( 10) -*	- ( 3) -*
福 島	9.4 (+0.4) ○	72.0 (114) ○	5	126.3 ( 97) ○	- ( 2) ○	- ( 1) ○
若 松	6.8 (+0.2) ○	92.0 (126) +	10	82.4 ( 93) ○	- ( 9) -	- ( 4) -
白 河	8.3 (+0.7) +	64.5 ( 99) ○	4	150.6 ( 103) ○	- ( 2) -	- ( 1) ○
小 名 浜	11.7 (+0.9) +	55.0 ( 63) -	7	158.9 ( 99) ○	( )	( )

(注) 1. 平年値は 1971～2000 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+ : 高い (多い)      ○ : 平年並      - : 低い (少ない)

各階級の区分値は、1971～2000 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる (各階級が 10 個ずつになる) ように決めた。

また、値が 1971～2000 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+」に \* を付加した。この場合には

かなり高い (多い)      かなり低い (少ない)

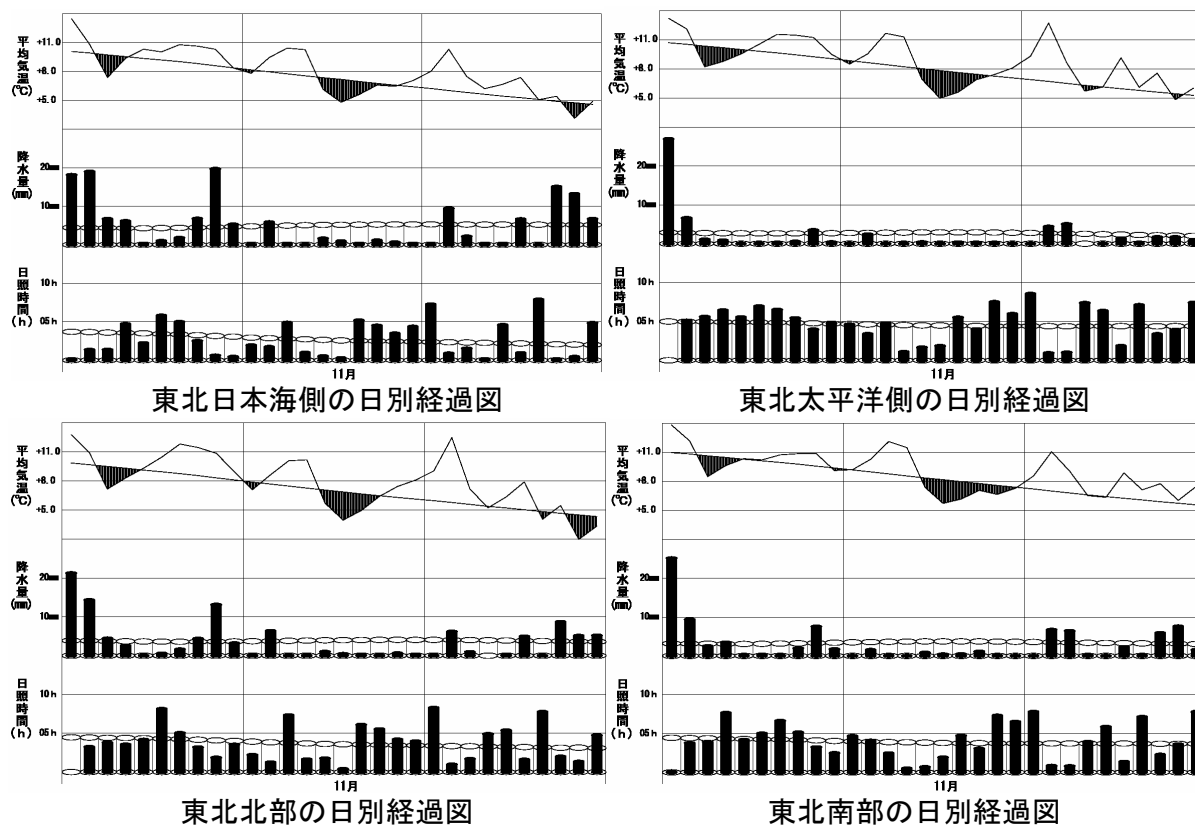
と表現できる。

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に ) や ] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ (日別値) に欠測等が含まれていることを示す。 ) 付きの値 (準正常値) は通常のものと同様に扱うことができるが ] 付きの値 (資料不足値) については、値の下に記載した統計日数 (統計に用いた、品質が十分な日別値の数) を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

## (5) 2010 年 11 月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

## (6) 2010 年 11 月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新  
3 位以内はなし

月平均気温低い方からの順位更新  
3 位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新  
3 位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新  
3 位以内はなし

月間日照時間多い方からの順位更新  
3 位以内はなし

月間日照時間少ない方からの順位更新  
3 位以内はなし

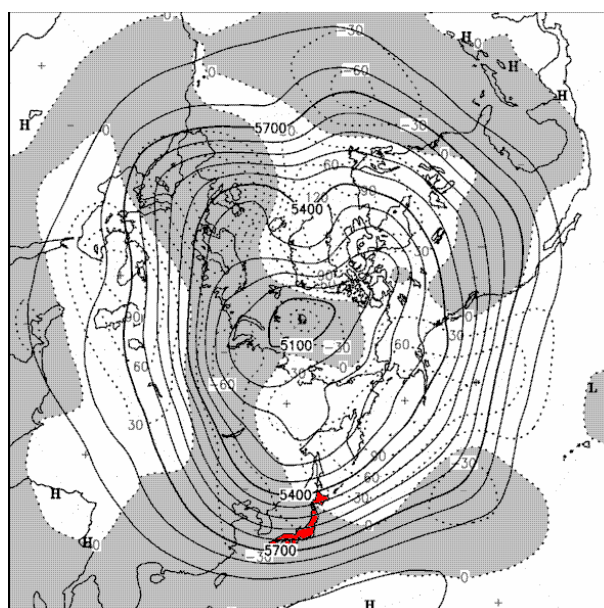
降雪の深さ月合計値多い方からの順位更新  
3 位以内はなし

月最深積雪大きい方からの順位更新  
3 位以内はなし

## (7) 2010 年 11 月の循環場の特徴

500hPa 高度は、日付変更線付近を中心に正偏差、中国東北区を中心に負偏差で、北日本は西谷となった。

東北地方は南からの暖かく湿った空気が入りやすく高温となった。



2010 年 11 月の平均 500hPa 高度

実線は等高線：60m 毎、点線は偏差：30m 毎  
陰影部は負偏差（寒気に対応）

## (8) 2010/2011 年寒候期 季節現象

12 月 1 日 15 時現在の状況

2010/2011 年寒候期 季節現象(初日)									
官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	10.30	10.23	10.25	11.17	10.29	11.3	10.26	11.7	11.2
秋田	11.17	11.6	×	11.27	11.13	11.3	11.15	11.12	11.2
盛岡	10.19	10.18	10.23	10.27	10.24	11.3	11.15	11.8	11.3
仙台	11.17	11.6	11.22	11.24	11.16	11.22		11.22	12.7
山形	11.12	10.24	11.18	11.12	10.29	11.18	11.29	11.16	11.3
福島	11.19	11.6	11.4	11.19	11.11	11.4		11.24	12.14

※昨年の秋田の初霜は、積雪によって霜が観測できなかった期間があり、欠測(×)となりました。

初冠雪									
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
ハッコウダサン	1585	10.26	10.16	11.2	ガンドサン	1485	10.27	10.28	11.2
八甲田山					雁戸山				
イワキサン	1625	10.27	10.15	11.4	リュウザン	1362	10.27	10.30	11.2
岩木山					瀧山				
タイヘイザン	1170	10.26	10.31	11.2	イズミガタケ	1175	11.29	11.6	11.3
太平山					泉ヶ岳				
イワテサン	2038	10.27	10.13	10.10	サオウザン	1841	10.27	10.23	11.3
岩手山					蔵王山				
ガッサン	1984	10.29	10.15	11.4	アツマヤマ	1949	10.27	10.21	11.3
月山					吾妻山				
アサヒダケ	1871	10.27	10.19	11.4					
朝日岳									

注：蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。

## ※平年値に関するお知らせ

気象庁では、現在は 1971-2000 年の統計による平年値を使用していますが、2011 年 5 月の中頃から 1981-2010 年の統計による新しい平年値を使用する予定です。

天候のまとめでは、2011 年（平成 23 年）6 月 1 日に発表する「2011 年 5 月の天候」および「2011 年春（3 月～5 月）の天候」から新しい平年値を使用する予定です。